

① 授業をみる視点

1班
 指導案から授業の目標やMQ
 を読み取り、実際の授業でい
 ちどちどに行われていたかを観察する。
 観察者 = 生徒
 になる

2班
 教師の授業における
 目標を見極める
 (目標ありきの内容
 内容ありきの目標)

③
 教師の意図
 指導案と実際の
 授業のズレ

② 授業をつくる視点

目標に向けての発問
 づくりと教材の選び方
 ↓
 子どもの関心 4班

発問
 目標やMQへの誘導

9班 史料・地図
 豊富な資料から取捨選択!
 教師の定めた目標に近づいた
 授業ができる。

○ 授業の目標を達成
 するために時には
 自分で資料を集める
 教材(内容)
 6班

③

③ 社会科授業の「よさ」

<7班>
 ▷ 他教科 分野のみならず、
 普段の生活や
 現代社会との関連性
 が強い(「日常」→「社会科」
 へのアプローチ)

→ 他分野・他種・公
 様々な視点から現代を
 見ることができる。
 (視点の変化)
 見かたを変えろ
 8班

対する見方がどのように変わったか